

# 私もひとこと

## 地域と学校と家庭 スクラムを組んで



千葉 すすむさん  
(鶯 沢)

私は昨年から鶯沢中学校PTAの会長を務めさせていただいています。度重なる震災後の対応や放射能問題の対応などと、通常以外の出来事に対して活動した結果、学んだことがあります。それは、生徒の安全を守る環境を維持し確保するには学校任せではなく、地域と学校、そして家庭がスクラムを組んで対応しなければ解けないということです。

私は栗原市が誕生した平成17年に地元に戻り、栗原市の成長と発展とともに過ごしてきました。しかし、栗原市でも少子化に歯止めが掛からず学校再編が進み、閉校する学校が増えてきました。少子化や過疎化に対応した再編後の生徒の良好な環境は実感します。ただし、地域と家庭のコミュニティーの場所である学校がなくなることで、築き上げてきたバランスを崩すことなく、地域のコミュニティーが発展し形成されることを熱望します。

## 高齢者に優しいまち 「栗原市」に

くりはら市議会だより第30号に介護保険料1390円引き上げとあり、平成24年度から平成26年度までの第5期介護保険事業計画期間の額を平均36・8%、基準額(月額)3770円を5160円に引き上げるという内容でした。高齢者人口や要介護認定者数の増加に伴い仕方のないことかもしれませんが、年金の減額もあり月5000円を超える額は高齢者にとっても高額だと感じます。今後も急速な高齢化社会を迎えるのは必至で、高齢者夫婦世帯や高齢者一人暮らし世帯が増え、通院や買い物に行く足がなくなる方が増えて来ると思います。登米市では市民バスが市内100円で運行しているそうです。栗原市でも、ぜひそのようなバスが走って欲しいです。

議員の皆さま日々の公務ご苦労様です。若者もこの栗原市で老後を安心して暮らせるまちに、どうかよろしくお願い致します。



菅原 みわさん  
(金 成)

## あじがき

暑い日が続いていますが、体調管理はいかがですか。

大飯原発の再稼働、消費税引き上げ法案の可決、そして政権与党である民主党の分裂など政党のマニフェストのなんたるかが問われる事態が続いています。

さて、栗原市の6月定例議会が6月26日に閉会しました。今回の議会は「(仮称)金成小中一貫校校舎建設建築工事請負契約」など33議案が審議されいずれも原案通り可決・承認されました。

議会の審議の様子を市民の皆様にお知らせするのが議会だよりです。これからも市民にわかりやすい紙面づくり心がけてまいります。ご意見ご要望をお待ちしています。

酷暑の折、ご自愛を。

沼倉 猛

議会広報編集調査特別委員会

- 委員長 佐藤 久義
- 副委員長 高橋 勝男
- 委員 菅原 勇喜
- 委員 鈴木 道夫
- 委員 沼倉 猛
- 委員 佐藤 優
- 委員 三塚 東
- 委員 石川 正
- 委員 三浦 善浩
- 委員 長佐 藤千昭